



生涯現役の熱き アスリート魂

10月28日(土)から30日(月)の期間で開催された「燃ゆる感動かごしま大会 特別全国障害者スポーツ大会」に多古町ひかり学園の山本京子さんが出場し、女子壮年の部800mと1500mで見事金メダルを獲得しました。

もともと走ることが好きだったという山本さんですが、初めて大会に出場した種目は意外にも陸上ではなくバレーボールだったそうです。2010年に行われた全国障害者スポーツ大会のバレーボール部門で千葉県代表になったものの、走ることが好きだという強い気持ちから、再び陸上の道に進むことになりました。

3年後の2013年には同大会の陸上部門に出場し、800m走と走り高跳びで銀メダルを獲得するなど、頭角を現していきま

した。
この他にも、日本知的障がい者



金メダルを獲得した「かごしま大会」で奮闘する山本さん(写真左)



恩師である藤崎コーチと山本さん

陸上競技連盟が主催の「10kmロードレース選手権」では毎年入賞しているなど、陸上界から一目置かれる注目選手となっています。活躍を続ける山本さんは今年で52歳になります。陸上選手の全盛期は、一般的に30歳前後といわれることがありますが、日々ストイックに練習を行う彼女からは全く衰えを感じません。

「100歳まで陸上を続けたい」と意気込む山本さん。恩師である藤崎コーチも「山本さんならできる」と太鼓判を押します。情熱を胸に、生涯現役を貫くアスリートは今後も応援していきます。



山本 京子 Kyoko Yamamoto

進化を続ける 生涯現役の アスリート



諦めず、ただ夢に向かって 走り続ける 山崎 蒼海 Aoi Yamazaki



勝利を喜ぶ千葉県代表
(山崎さん：前列左から1人目)

情熱を胸に挑戦を 続ける若きアスリート

10月8日(土)に日本陸上競技連盟が主催の「みんなでつながりリレーフェスティバル2023」が国立競技場で開催され、山崎蒼海さんが千葉県代表としてU-16女子4×100mリレーに出場。46秒70という好タイムで大会新記録を更新し、見事優勝しました。第一走者を務めた山崎さんは、当時の走りを「70点」だと振り返ります。「隣の選手に先をいかれたことに気を取られ、フォームが少し崩れてしまいました。リラックスして楽しみながら走れました」と苦笑いで語る山崎さん。そんな彼女ですが、昨年はとても大変な年間だったそうです。思うようなタイムが出せず、伸び



悩む期間が続きました。けがや病気も重なり、大会でもなかなか結果に結びつかなかったといいます。つらい期間を支えてくれたのは、クラブチームのコーチや友人たちでした。山崎さんは「自分を支えてくれたのは周りからのアドバイスや励ましの言葉でした」と語ります。他にも、元日本記録保持者である高橋明木子さんが練習に訪れ、相談に乗ってもらったことも良い刺激になったそうです。「今がいくらでも、それを乗り越えればきつと大丈夫」という強い気持ちを持って練習に臨んでいた山崎さん。「目標は高校のインターハイで優勝することです」と力強く答える山崎さんの瞳には、熱く燃える情熱が見えました。多古町の若きアスリートの挑戦はまだ始まったばかり。夢に向かって走る彼女にエールを送ります。